



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

行動に信念を 信念は行動に



佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒 880-02 佐土原町大字下田島9883番地 1
TEL 0985-73-0015

BELIEVE IN WHAT YOU DO Do WHAT YOU BELIEVE IN

ロータリー財団月間

1993. 11. 12 (金) 第293回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「手に手つないで」
3. 会長の時間
4. 幹事報告
5. 各委員会報告
6. 会員卓話 垂水敏雄君
7. 点 鐘

第292回例会記録 (1993. 11. 5)

会長の時間 正岡文郁

皆さん今日は、本日は第292回例会です。ご出席の皆さんは、今日の秋晴れの空のように爽やかな、澄みきった顔をしていられっやいます。これこそロータリアンの顔であると慶ばしく存じます。

人間が社会生活を営んでいる以上、たまには面白くないこともあろうかと思えます。大変むずかしいことではありますが、そんな時でも常に「和顔愛語」を堅持したいものだと思います。和やかな顔、慈しみの言葉でお互い接しましょう。それが社会を明るくすることに通じると考えます。

お互いロータリアンでありますから、それぞれ顔に責任を持って、社会に対して恥ずかしくない顔でもって、一日一日を過ごして行きたいものであります。

また、本年度のR Iのテーマは「行動に信念を、信念は行動に」であります。行動する時

にはしっかりした信念を持っていなければいけないし、確固たる信念がなければ、しっかりした行動はできないのであります。

さて、いよいよ来週末の11月13日から14日まで、第2730地区大会が宮崎市で開催されます。昨日(11月4日)宮崎市郡6RCの会長・幹事会があり、協議題の中で、地元での地区大会でありますので、全員登録が確認されました。今回は万障繰り合わせ、全員必ずご出席くださいますようお願い申し上げます。

禅 語

古松談般若
幽鳥弄真如(人天眼目)
老松の知を語り
静から鳥達が無理の言葉を
吟弄する。

多年風雪に耐えて来た老松は、見る者をして厳粛な気持ちにしてくれます。そこに人生の智慧を聴きとることができます。

事務局番880-03宮崎県宮崎郡佐土原町大字東上那珂17588-10 (有) 池田印刷所内 ☎0985-74-0130
会長 正岡文郁・副会長 児玉武文・幹事 池田仁志・会計 郡司武俊・会報責任者 垂水敏雄

また、小鳥たちが無心に戯れている、その囀りの中に真理を聴きとることができます。

これは、単に観察するだけでなく、あくまで悟りの境地であります。

「耳に見て、眼に聞かぬならば疑わじ、おのずからなる軒の玉水」という句があります。

“部屋に居ても、軒先の雨垂れの音を聞いただけでその情景が頭の中に浮かんでくる。離れた隣家の軒から雨垂れが落ちるのを見ただけで、その音が聞こえて来るようだ。”との意味であります。見えぬものを心の眼で見る、聞こえないものを心の耳で聞く、即ち、軒の玉水が自己であり、自己と雨垂れが一つであるということです。

私があなただけであり、あなたが私である、自分と相手が常に一つであれば、何をすることに心して行動しなければならぬこととなります。

私の智慧とは、私どもの語る事、行うことそのものであります。皆さんが、生まれたままのその私の智慧でもって行動していただく、それが真理に通じることであります。

幹事報告 池田仁志

1. 例会変更通知

*日向東RC 11/9 椎茸の森(株)・11/11 18:30 はまぐり荘・11/23 休会*日向中央RC 11/10 12:30 興福寺・11/11 18:30 はまぐり荘*日向RC 11/11 18:30 はまぐり荘*延岡東RC 11/15 18:30

2. ガバナー・ノミニエ事務所開設案内 鹿児島市与次郎が浜(サ・ロイヤルビル)

3. 宮崎市郡6RC会長・幹事会報告

- ①平成5年9月18日開催の青少年問題研究座談会記録誌を各RCに配布する。
- ②世界社会奉仕プロジェクトについては、宮崎RCが単独で、釜山RCから要請のあった、韓国の恵まれない子どもたちに楽器を贈ることになった。
- ③交換学生に宮崎県内で6名の応募者があったので、審査のうえ1名選出する。
- ④G. S. EについてG. S. E委員会とガバナーの意見調整の結果、委員会の計画で実施することになった。
- ⑤第2730地区大会の登録者数は2238名で、宮崎市郡6RCは全員登録している(宮崎市内5RCはそれぞれ夫人5名も参加する)が、是非全員出席していただきたい。

名で、宮崎市郡6RCは全員登録している(宮崎市内5RCはそれぞれ夫人5名も参加する)が、是非全員出席していただきたい。

⑥北海道南西沖地震被災児童招待事業は、奥尻島の小学校5～6年生30名と引率者5名を、平成6年1月10日から13日まで招待することになった。

⑦1995～1996年度ガバナーノミニエ竹内三郎(宮崎西RC)の挨拶があった。

出席報告 委員長 神宮寺 利夫

会員数	18名
欠席者数	3名
HC出席者数	15名
出席率	83.3%
欠席者名	斉藤・垂水・井下

ビジター

高鍋RC 木許義成君
西都RC 尾崎公男君
" 岩切昇君
" 河野謙二君
宮崎中央RC 小牟田利幸君

社会奉仕委員会 委員長 佐野保
先週報告いたしました公共施設への植樹寄贈の件については、再度町主管課と協議して実施したいと考えています。

次に、世界身体障害者芸術協会から、作品(絵はがき1000冊・カレンダー1200冊)の購入依頼が来ています。ご希望の方は現金を添えて、私まで申し込んでください。

親睦委員会より 委員長代理 森田邦宏

11月セレモニーは、今月結婚記念日をお迎えになる、佐野保君と福井孝文君に、正岡会長より記念品を贈って祝福申し上げます。

なお、郡可武俊君への、佐土原RC親睦ゴルフ大会入賞品贈呈も同時に行います。

皆さん、今日は台風被害の事について話してみたいと思います。

記憶に新しい事と思いますが、9月3日のことです。新聞、TVニュース等で、2日前から戦後最大級の勢力で上陸する可能性が高いことは解っていたのですが、何しろ私自身経験した事もなく、漠然と被害が大きくなるだろう位にしかかんがえていませんでした。

当日の昼ごろまで現場等を、点検して廻り台風接近に備えていました。その日は風呂と食事は、4時ごろすませたのですが、親にいわれて早めにすませた次第です。後で考えるといつもの食事時間のときは、停電で真っ暗な状態でした。

自宅の風の当たらないところで外を見ていたのですが、だんだん風雨が強くなり景色が白っぽく見えてきた時には、外を見ていれる状態ではなく家の中でじっとしていました。屋根瓦の落ちる音がしたので車庫を見ると瓦が新車の上の屋根に、付き刺さっているため、車を移動したいのですがどうする事も出来ない状態でした。幸い車に被害はなくほっとしたしいです。

その日の8時ごろから電話がなりだした次第です。内容は、家の屋根瓦が吹き飛んでいるとの事でした、翌日は多分その様な内容の電話が入るだろうと予測して早めに家を出た次第です。電話内容は、家内に全てまかせて、8時から西都方面を廻り、田野、清武、宮崎市内の南方面から廻り、佐土原、新宮方面と計画して順次廻った次第です。電話してくる方は、自分の家を先にして下さいとか、自分の家の被害が一番とかいわれて早くしてもらいたい事をいわれるのですが、最初の1日は、被害状況の把握がまず先だからと説明して廻った次第です。その日に廻った件数が30軒ぐらいでした家に帰ったのが夜の8時ごろで、電話の用件が15軒程廻り切れなかった所から来ていました。

被害状況を見て廻る最中に道路が倒木や電柱の倒れ等で遮断されていてなかなか目的地に行けない状況でした。

建物の被害状況を分類してみると

- ① 屋根瓦の破損
- ② 雨戸戸袋の破損
- ③ 軒樋の破損
- ④ カーポートの屋根破損
- ⑤ テラスの屋根破損
- ⑥ スレート屋根の破損
- ⑦ 軽量シャッターの破損

以上の7項目が大きな被害のようである。

屋根瓦について

一般に寄棟の家は風に強いと言われるのですが、今回は寄棟の様が破壊されていてその瓦が1階の屋根に落ちて被害が大きくなった様です、また北向きの屋根に瓦の飛散が多いようです、ある所で瓦の葺きかたの向きが悪いと言われました。理由を聴くと、風の吹く方向に瓦がかぶせてあるという事である。考えてみると、瓦の形状が皆同じ型をしているわけですから、南側の瓦は西からの風に弱く、北側の瓦は東の風に弱いのです。素人考えでは風向きに対して葺きかたをかえれば良いように思いがちですが瓦を製造するのに型が必要です、その型が種類しかなく、コスト的にも、割高になるのではないかとおもいます。

出来れば、地域的に風向きに対して葺きかたも変えた方が良いでしょうが？

次に軒樋が吹き飛んで軒瓦を、吹上げ瓦が次々に吹き飛んだようです、軒樋を止めてある金具が、スチール製の亜鉛さび止めの為、年月が経つと腐り、破損を早めます。出来れば鋼線等で結束しておけば安心です。

瓦の施工に対する仕様書があるのですが、住金の場合、軒瓦は釘で全て固定、又平瓦は、近頃の仕様では4段毎に釘止となつて居ます。しかし新宮の現場は、昨年新築したのですが、ここは風当たりが強いと思われたので、3段毎に釘止めていたのですが、今度の、台風で200枚ほど吹き飛びました。

瓦全てを釘で固定しても良いのですが、割れたりして差し替える際に、大変です。現在修理している瓦は、特に2階部分は、瓦止を施しています。

雨戸戸袋及びサッシの破損対策として

- ① なるべく高さの高いのは使用しない
- ② 戸袋の向きは地域の風方向に注意する。
- ③ 大きい面積のガラスは強化ガラスとする。
- ④ 高さ90cm以上のサッシには雨戸をつける。
- ⑤ 出窓等のサッシは雨戸が付かないので格子等を付ける。

以上いろいろと、対策する事が必要です。

今回の台風災害は、私自身経験した事も無いような、激しいものでした。約2ヵ月経過したにも係わらず、まだ青いシートが被っているところが多いようです、全て修理するまで、1年から2年位はかかるとおもいます。1 昨年の台風19号から毎年非常に大型の台風が発生するようになったのが、気にかかります。

今後この様な台風が来ないともいえません。災害は、忘れた頃にやってくると、よく言われますが、今後は、忘れなくてもやって来るような気がします。

今回の災害に対する経験を家造りに活かして行く、つもりである。

11月受祝者のハッピー・ボイス

本日は有難うございます。
いつまでも元気で、仲良く、楽しい人生を送りたいと思います。

佐野 保

19回目の結婚記念日です。祝ってもらってありがとうございます。

記念日は昭和49年11月27日です。
早いもので子供も高校を卒業する年になりました。私、私も年を感じる頃となりました。これからも健康で頑張っていきたいと思えます。

福井 輝文

☆上記の2名の方から多額のハッピーを戴きましたので、厚くお礼申し上げます。

ロータリーについて 言われていること

5月に世界保健機関は、国際ロータリーに最高の栄誉として年次“Health for All”ゴールド・メダルを贈呈しました。同賞は、ポリオとの世界規模の闘いに対するロータリーの貢献をたたえるものです。スイスのジュネーブで開かれた世界保健総会で、ロータリー財団の管理委員長のチャールズ・ケラー氏が受け取りました。

贈呈に当たり、WHO事務局長の中嶋 宏氏が次のように述べました。「1985年に、国際ロータリーのポリオ・プラス・プログラムが誕生しましたが、これは、長い間子供たちに脅威を与え、多くの人を障害者にした疾病の甲種といえましょう。ポリオからの自由という夢を世界に与えました。これは、20世紀の人々から21世紀の子供たちへのプレゼントです。

ロータリーは、同賞を受けた最初の団体です。これまでの受賞者はすべて個人です。